

# ぬまたっ子

～ 『自立』 『共生』 『蛍雪』 ～

令和4年度の沼田学園は、「沼田っ子でよかったと言ってもらえる教育」を継続しています。これは、北海道教育推進計画が掲げる「ふるさと教育の充実」や、沼田町総合推進計画にある「子どもたちが誇りをもてるふるさとづくり」につながるものです。何より、卒業するときに「沼田っ子でよかった」と子どもたちに感じてほしいという願いは、沼田町民の皆様にご共感いただけると考えています。

## 【学力向上に向けて】教育振興会

沼田学園では、「自ら進んで考え、学び合う児童生徒の育成」を研究主題として、小・中学校の教員が合同研修を行っています。今年度は特に、ICTの効果的な活用を視点を、授業改善に取り組んでいます。

学習活動において、子どもの「主体的、対話的で深い学び」を実現させることが求められています。そのために、子ども同士が意見交換、対話などを通して、協働しながら、思考を深めていく「協働的な学び」と、その子どもにとって効果的な指導をしたり、その子どもの達成度などに応じて学習に取り組んだりする「個別最適な学び」が重要視されています。これらの学びを実現させるためのツールとして、1人1台端末(ipad)をより効果的に活用していくことを目指しています。

10月28日と11月14日には、空知管内各小、中学校を対象に公開授業研究会を開催し、研修の成果を発信しました。

今後も、子どもたちの学力向上に向けて日々、研鑽に努めてまいります。



公開授業研究会の様子

### 校訓

じりっ  
「自立」

きょうせい  
「共生」

けいせつ  
「蛍雪」

### 学園教育目標

- 【知】かしこく知性を高める
- 【徳】なかよく情操豊かに
- 【体】心身たくましく

### 研究主題

- 自ら進んで考え、
- 学び合う児童・生徒の育成
- 沼田スタイルを活かした授業づくり

## 【8月 あんどん祭】小・中学校

夜高あんどん祭りが3年ぶりに開催され、児童生徒は、両日とも沼田っ子らしく、祭りを盛り上げました。参加にあたり、保護者の皆様をはじめ、地域住民の皆様のお力をお借りしながら準備を進め、当日も多くの方にお手伝いいただいたことに心から感謝を申し上げます。祭りは、児童生徒の心に深く刻まれ、記憶からなくなるはずは、自分が育った郷土、まつりばやしとほたるの里、沼田町を誇りに思っしてほしいと思います。



## 【9月 文化祭】中学校

9月17日(土)「光炎万丈 祭りだ騒げ!」をテーマに掲げ、第55回文化祭が行われました。生徒会が中心となり、皆で準備を進め、大成功。あんどん祭をテーマとしたステージ発表、壁新聞制作、演劇「マイライフ」の熱演、各学年の合唱など、文化的レベルの高い取組とすることができました。



## 【10月 秋の外掃除】小学校

全校異年齢集団で秋の外掃除を行いました。グループ毎にバケツを2つ持ち、燃えるゴミと燃えないゴミに分けて収集しました。小さな小枝がたくさん落ちており、みんなで集めることができました。集まったゴミは、玄関前に集めてグループ毎に終了しました。学校周辺がきれいになり気持ちのよい清掃ができました。



## 【10月 学習発表会】小学校

10月15日(土)学習発表会を開催しました。10月に入り、学習発表会特別時間割が開始され、毎日、体育館や視聴覚室、教室などで一生懸命、練習に取り組んできました。第6学年演劇「ほんとうの宝物は」をはじめ、歌にダンスに音楽発表に、どの学年も素晴らしい発表でした。



## 【11月 中学生議会】中学校

11月2日(水)行政や議会の仕組みに理解や関心を深めること、まちづくりについて、考え、進んでまちづくりに参画しようとする意欲を高めることを目的として、「中学生議会」が沼田町議会議場で開催されました。沼田町の産業や自分たちの生活などについて、将来、沼田町を担う一人として立派に提言しました。



## 学びを止めないオンライン授業

沼田学園では、各教科等の授業におけるICTの効果的な活用を通して、児童生徒にとって「分かる授業づくり」を目指しています。また、行事や生徒会活動など、様々な機会に1人1台端末(iPad)の活用が進んでいます。児童生徒が止むを得ず、欠席しなければならない時には、学校と家庭をつなぐ、オンライン授業も実現させ、児童生徒の学びの保障に努めています。



## 「いじめ」のない学校を目指して

沼田学園では、「沼田学園いじめ防止基本方針」に基づき、年間を通じて、計画的に組織的な取組を行っています。児童生徒の実態を把握するため、教育相談やQUテスト等に加えて、年間2回の「いじめアンケート」を実施しています。アンケート調査では、質問項目「嫌な思いをしたことがある」「友人が嫌な思いをしているのを見たことがある」に注視し、これらの回答があった場合は、校内いじめ防止対策委員会を中心に全教職員が協力体制の下、情報を共有し、早期発見・早期対応に努めています。

令和4年度(現在のところ)は、「嫌な思いをしたことがある」事案(小学校16件、中学校10件)をいじめとして認知し、早期対応に努めてきました。「嫌な思いをしたことがある」事案として、「冷やかしかからかい、悪口をいわれる」「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたりする」「メールや無料通話アプリ(SNS等)で悪口を書かれた」等が主なものでした。現在、全ての事案について、いじめの状態は止んでおり、一定期間(3ヶ月)の経過を見守っているところです。

児童生徒同士は、概ね良好な人間関係を築いていますが、今後も学級や学校をどの児童生徒にも落ち着ける場所にしていく「(心の)居場所づくり」を進めていきます。一方、児童会や生徒会活動等、児童生徒が主体的に取り組む協働的な活動を通して、児童生徒同士が「絆」を感じ取り、紡いでいくことが望まれます。日々の授業や行事等において、全ての児童生徒が活躍できる場面づくり(絆づくりのための場づくり)も合わせて、進めていきます。

いじめのない学校を目指して、学校と家庭、地域が共通理解を図り、「いじめを許さない」指導や取組を行っていくことが重要です。学校でも、生徒の様子をきめ細かく把握するよう努めます。家庭、地域におきましても、子どもの変化に気付きましたら、遠慮なく、学校に御連絡ください。

### 感染症防止と学園運営に

#### 御理解をお願いいたします。

依然として、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計画通りに教育活動を進めることが困難な状況は続いています。児童生徒の安全を優先した上で、沼田学園として、教職員が一丸となって子どもたちの「学びを止めない」努力を今後も行っていきます。今後とも沼田町民の皆様の御理解と御支援をお願いいたします。